

「国語科」シラバス

教科の目標	国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力及び言語感覚を養い、国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てる		
評価について	<p>【評価の観点】</p> <p><知識・技能>社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている</p> <p><思考・判断・表現>社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている</p> <p><主体的に学習に取り組む態度>言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている</p> <p>【評価の方法】</p> <p>授業内観察（態度・学習意欲等）、提出物・作品、定期テスト、課題表現活動、朗読、ノート、書写などにより総合的に評価します。</p>	学習の進め方	<p>1 確かなコミュニケーション能力の定着を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを正確に伝わるように話す力 ・話し手の内容を正確に聞き取る力 ・自分の考えを正確に伝わるように書く力、 ・文章を正確に読み取る力 <p>2 国語を大切にする読書好きの生徒を育てます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字や語句などの基礎力の定着 ・毎朝10分の朝読書の実施

3年間の学習内容

	第1学年	第2学年	第3学年
1学期	○言葉に出会うために 一 学びをひらく 二 新しい視点で ○硬筆<書写> 三 言葉をつなぐ ○読書生活を豊かに	一 広がる学びへ 二 多様な視点から ○情報社会を生きる ○硬筆<書写> 三 言葉と向き合う ○読書生活を豊かに	一 深まる学びへ 二 視野を広げて ○硬筆<書写> 三 言葉とともに ○読書生活を豊かに
2学期	四 心の動き 五 筋道を立てて 六 いにしえの心にふれる 七 価値を見いだす ○書き初め<書写>	四 人間のきずな 五 論理を捉えて 六 いにしえの心を訪ねる 七 価値を語る ○書き初め<書写>	四 状況の中で 五 自らの考えを 六 いにしえの心を受け継ぐ 七 価値を生み出す ○書き初め<書写>
3学期	八 自分を見つめる ○一年間の学びを振り返ろう	八 表現を見つめる ○国語の学びを振り返ろう	八 未来へ向かって ○三年間の歩みを振り返ろう